

HIO YOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

1990. 9. 38号

発行所



熱心にノートをとる参加者

去る八月七日、八日に第三ブロック青年布教使育成研修会(中部・近畿八教区)が兵庫教区担当にて神戸タワーサイドホテルを会場に四十六人の参加を得、開催された。

開会式での挨拶で酒生文彦総務布教団総団長は「布教使は常に大衆の中にあって法を説くことが大切であり、布教は理屈ではない」と強調され、引き続きの講演ではユーモアたっぷり

に自分の歩んできた布教をふりかえりながら青年布教使に問いかけられた。また、研修会の講師として当教区より布教団副団長の山崎一朗師(出石組正福寺)と元広島大学教授の杉本顕俊師(阪神北組光円寺)が出向した。

と題し、お説教の時の立ち居振る舞いや、その心構えなど布教の場からのお話をされた。参加者の「姿勢を正してからでない」と、布教には出向できない「ナア」との溜め息の一幕もあった。

杉本師は「生と死の病理学」の中で、死からの出発、一病院では僧侶が活動することが特別な行いであるかのように思っている節がある。病院であろうと老人施設であろうと、僧侶としてやるべきことはやる。念仏者であればおのずからわかっているはず」との指摘があった。参加者に感銘をあたえた研修会であった。

兵庫教区からの参加者は次の十人の方々(敬称略)
浅井幸憲(多紀組光専寺)
藤原行信(淡路組宣徳寺)
増井浄見(赤穂北組浄蓮寺)
谷川弘顕(神戸湊組高松寺)
井上英樹(姫路中組西徳寺)
高崎正英(神崎組浄光寺)
望月寛哉(網干組善徳寺)
竹内俊之(揖電東組浄蓮寺)
石田保孝(朝来組照福寺)
池本史郎(姫路中組法性寺)

「大衆の中で法を説く」

神戸で青年布教使育成研修

生と死を論じ「死は人生の最後に来るのではなく人生そのものの中にある、生と死は共存であり共有である」と力説された。



生まれて初めて目に映る動く物影を、親と信じて追い纏わり、纏わりつけて追いつく本能を刷りこみ現象というのだが、それを逆用して失明同然にしてしまう実験を東北大の田崎名誉教授が試みたという。誕生直後の仔猫の片方の眼を縫い数ヶ月後に抜糸すると同時に、反対側の眼を閉じる実験である。光を当てると神経に電流が流れるから見えていない苦痛のみに見えないそうだが、最近では精度が上がり、ある時期の二時間の縫合でOKとか。つまり成育過程のある時期二時間が受けた光の刺激を情報として処理する機能定着の時間だった訳。近頃の人の子の親は、どうやら我が子に己が姿を刷りこまれるのを恐れ、眼を縫いたがっているように、身を以て範を示そうとはしない。親がオロオロしているから教師が校門を閉めにかかる。事故後に「もう10分早く登校してくれていたなら」と校長が呻いて口にしたら、マスコミもナンセンスと刷りこむに急いで、呻きの根元を究める眼を失っている(廣岡正義)

教区だより 9月

9月1日(土)	第一土曜仏教講座 瓜生津隆真師 (京都女子大学教授)	1時半
3日(月)	青年僧侶の会役員会	6時半
4日(火)	教化センター協議会	10時半
5日(水)	結集大会部長会・総務部会	1時半
6日(木)	仏婦委員研修旅行	関東二十四輩
7日(金)	寺族青年野球大会	滋賀守山球場
8日(土)	仏婦常例 赤松義光師(網干組政源寺)	1時半
9日(日)	少年サマースクール反省会	3時
10日(月)	仏社ブロック 富永真哉師(佐用組浄宗寺)	多紀組尊宝寺
11日(火)	総代ブロック 西脇正文師(揖電西組超念寺)	別院
12日(水)	総代ブロック 西脇正文師	姫路西組本徳寺

12日(水)	総代ブロック 久堀弘義師(神戸湊組行願寺)	多可組浄福寺
13日(木)~14日(金)	近畿ブロック教区会議長・組長会長・教務所長会議	大阪
14日(金)~16日(日)	別院常例 本多龍雄師(出石組兼専寺)	1時半
14日(金)	総代ブロック 西脇正文師	岡山南組正善寺
15日(土)	仏社ブロック 暇丘大愚師(滋賀教区)岡山北組妙願寺	
18日(火)	全戦没者追悼法要	東京千鳥が淵墓園
20日(木)	常備会	10時半
21日(金)	組長会	1時半
22日(土)~24日(月)	結集大会実行委員会	2時半
22日(土)	別院彼岸会 曾我弘道師(備後教区)	1時半
26日(水)~27日(木)	寺婦聞法旅行 四国・妙好人庄松同行ご旧跡を訪ねて	浜坂町(針女人形の宿)
28日(金)	青年僧侶の会一泊研修会	
28日(金)	臨時教区会	10時半
	結集大会理事会	

HIO 四組で大会

◆7月23日第三ブロック布教大会を大阪津村別院で。教区布教団より山崎一朗副団長が出講◆25日結集大会部長会・行支部会◆26日基推委企画室会議◆27日神姫組結集大会をふれあい会館で。所長祝辞◆神戸中組住職寺族同朋講座を浄教寺。講師は藤原行信師◆神戸湊組寺族同朋講座を善照寺。講師は松島法城師◆29日多紀組結集大会を篠山町中央公民館。所長祝辞◆北摂組結集大会を三田市農協。所長祝辞◆播磨中組結集大会を光専寺。所長祝辞◆姫路東組結集大会を姫路東市民センター。所長祝辞、朝八時半に別院を出て四組の大会にそれぞれ出席して所長が別院に戻ったのは七時を過ぎたハードスケジュールでした◆門徒推進員役員会◆30日阪神北組結集大会を川西市文化会館。所長祝辞◆高砂組結集を福祉保健センター。所長祝辞◆31日六粟組住職寺族同朋講座を明源寺。講師は和田智浄師◆30日少年連盟サマース

クールを淡路組萬行寺で二泊三日◆8月1日モダン寺暁天講座を別院で。講師は足利孝之師、講題は信心をいただく◆2日暁天講座。佐々木大観師、如来さまのはたらく◆結集大会の当日に使われるスライドに関する打ち合わせ◆研修読本作成部会。各章のチーフが集まり協議◆加古川組住職寺族同朋講座を正念寺。講師は高崎長英師◆3日暁天講座。藤田真哲師、かがやいて生きる◆4日阪神東組結集大会を伊丹市立文化会館。所長祝辞◆別院第一土曜仏教講座。講師は清胤徹昭師◆4日5日全国真宗青年の集い京都大会。教区から三十三人参加◆5日仏社ブロック研修(阪神・神戸)を別院で。講師は太田唯念師、参加百三十人◆揖電西組結集大会を徳行寺◆氷上東組結集大会を照蓮寺。所長祝辞◆氷上西組結集大会を正覚寺。所長祝辞◆6日結集大会部長会・総務部会◆7日結集大会庶務部会◆7日8日第三ブロック若手布教使研修会を神戸タワーサイドホテル◆8日教区寺婦運営委員会◆9日結集大会編集部会。大会の記念冊子の編集について、各組

生前のご苦勞を偲び 謹んで敬申の意を表します。(敬称略)

赤穂南組宝専寺衆徒	三木幸太郎	7月29日	91才
「寶教院釋幸信」	福田 正豪	8月2日	83才
網干組圓勝寺住職	岩井 義雄	8月15日	83才
「聞信院釋正豪」			
阪神西組万福寺前任住職			
「浄徳院釋義雄」			

別院盆参り

◆11日15日別院の檀家へのお盆参り。輪番はじめ職員も総出でお参りとなるが、遠くの檀家は車で三十分以上もかかるころや、初めての家など約束の時間に遅れ「遅くなってすいません」連発の職員もいました◆18日阪神西組万福寺前任住職故岩井義雄師の葬儀に本山よりの達書伝達に教務所長参列◆19日六粟組結集大会を西光寺。所長祝辞◆21日総代ブロック研修(丹波)を氷上東組本明寺で。講師は久堀弘義師、参加は五十五人◆22日総代ブロック(但馬)本願寺豊岡教堂で。久堀弘義師、参加七十人◆神姫組住職寺

10月に近畿ブロック仏教研修

兵庫教区の担当で十月六日(土)~七日(日)に開催される。会場は神戸別院で午後四時受付。講師は西脇修師(揖電西組超念寺)。二日目はボーリング大会を行い正午に解散する。参加希望の方は教務所仏青事務局までお問い合わせ下さい。

「法」を配って下さい

報恩講号として「法」のみのり」と題した折り込みのページ、広く活用下さい。なお、百部以上は題字の横に寺号を印刷します。料金は一部十五円です。(事務局)

仏となる命との出遇い

第一土曜仏教講座の清胤師

神戸市民にモダン寺として親しまれている本願寺神戸別院の本堂において今年四月から、一般市民を対象に毎月第一土曜日に「第一土曜仏教講座」が開催されており、回を追うごとに盛況となっております。

五回目の開催となった八月四日には安芸教区の出身で仏縁総連盟講師でもある清胤徹昭師に「絶望のない人生」と題して講演を願いました。

当日は大変暑く、まして冷房施設の無い別院の二階本堂ではありましたが、参加された百人近い人は二時間の講演を熱心に聴講されました。

この人との出遇い

「曠劫多生のあひだにも、出離の強縁しらざりき、本師源空いまさずは、このたびむなしくすぎなまし」

このご和讃は親鸞聖人が七十六才ぐらいの時にお作

りいただいた高僧和讃の中、源空上人を讃えられた和讃の一首で、この和讃が親鸞様と法然上人との出遇いの意味を語り尽くして余りあるご和讃だと思っております。

私の人生はこの人との出遇いがなかったなら、空しいものとなっていたであろう。逆に言えばこの人との出遇ったことで、今までの悩みもいつべんで吹き飛んでしまった。もう何がおころうとびくともしないんだよと、そんな暗々としたなかで、法然さまとの出遇いを歌われた一首です。

無条件の救い

最近ではヨーロッパに真宗が思いがけないことから盛んになって、広まりつつある事実があります。ヨーロッパの最初の真宗寺院はベルギーにある慈光寺という寺院であります。その寺院を開いたアドリアンピエールと言う方は、キリスト教を信仰していたのですが、ふとした縁から真宗と出遇い、そして大変な感動を受けられたのです。

キリスト教信者が初めにぶち当たる信仰的壁として、すべてのものは神が創造したとの絶対唯一の創造神を信じることであろう。彼もその一人でありました

が、今、こうしてこのお念仏の教えに生かされてみると、親鸞聖人の教えを知らなければ、私もそれなりに一生クリスチャンとして生きていかねばならない。しかし、無条件の救いの阿彌陀仏の教えに遇えば、キリスト教では我慢が出来なくなったと言われた。

全知全能の神であるならば、なぜできないものばかりつくってくれなかったのか。

神が自分で作った人間、その人間が罪を犯したからといって、なぜまた、その人間を裁くのか、と話されたアドリアンピエールさんは京都で得度を受けられヨーロッパで真宗寺院を開かれた。

死すべき命 私たちは常により良き未来を願って生きているのであります。たとえば農耕で生きてきた私たちは、秋の実りを期待して春に種をまくのであります。その未来思考ともう一つは自己向上で、多少でもこの私はましになりたいと願うことが人

間であるとすれば、皆さんの未来とは、いったい何でしょうか。

結論から申しますと、浄土を願わずして本當に未来が保証されますか、仏さまとならせていただく保証がなくて自己の向上がありましか、お浄土がない人生は、いかに努力しても未来は絶望です。

成仏道に立たしめられることのない人生は、いくら努力しても最後は死んでしまっただけなのです。この私の命が生物的命であるなら、それは死すべき命であって、絶対に死をまぬがれることはできないのです。

そもそも、お釈迦様が地位も名誉も捨てて旅立たれたのは、ここにあったのでした。

どう頑張ってみても、死ぬよりほかにない人生であるならあまりにも空しいではないですか。わびしいですね。生き物の命は、生きるときから死は必然でありワンセットとなっているのでしよう。ガンで死んだ、事故で死んだと言うが、それは縁であって、もしガンにならなければ、事故にあわなければ絶対に死なないのかと言うと、そうではないでしよう。たとえ病気に

すばらしかった阪神北組大会

「曠劫多生のあひだにも、出離の強縁しらざりき、本師源空いまさずは、このたびむなしくすぎなまし」

このご和讃は親鸞聖人が七十六才ぐらいの時にお作

られた「念仏の声を世界に子や孫に」を実践していく姿にも思われた。

讃歌指導も楽しくみんなで唱和できてよかった。昼食時のお弁当のお世話も本當に大変なこと係の方のご苦労に感謝とお礼を伝えたい。

藤田徹文師の記念講演は現代的に日常を通してわかりやすい事例をあげてはなされていく「上を向くほど落ちていく」「自己中心にとらわれがちである」という言葉が残っている。

アトラクションは各お寺から出された踊り、詩吟、民謡、それぞれに一生懸命に練習された結果が表れていて感動した。邦楽の合奏も迫力があつた。最後はコーラスでまとめられ、親子コーラスで大人も子供も一緒に歌ったのがよかった。

五時間余の大会が非常に短く感じられ盛大に終了された（内容が充実していたからと受けとめていた）今後の活動に今回の大会を活かしていきたいと思う。

なお、十一月七日の兵庫教区御同朋総結集大会に向かって頑張っていかなばと決意を新たにいたします。

阪神北組源照寺総代 谷野 武夫

御同朋総結集に向けて

すばらしかった阪神北組大会

「曠劫多生のあひだにも、出離の強縁しらざりき、本師源空いまさずは、このたびむなしくすぎなまし」

このご和讃は親鸞聖人が七十六才ぐらいの時にお作

られた「念仏の声を世界に子や孫に」を実践していく姿にも思われた。

讃歌指導も楽しくみんなで唱和できてよかった。昼食時のお弁当のお世話も本當に大変なこと係の方のご苦労に感謝とお礼を伝えたい。

藤田徹文師の記念講演は現代的に日常を通してわかりやすい事例をあげてはなされていく「上を向くほど落ちていく」「自己中心にとらわれがちである」という言葉が残っている。

アトラクションは各お寺から出された踊り、詩吟、民謡、それぞれに一生懸命に練習された結果が表れていて感動した。邦楽の合奏も迫力があつた。最後はコーラスでまとめられ、親子コーラスで大人も子供も一緒に歌ったのがよかった。

五時間余の大会が非常に短く感じられ盛大に終了された（内容が充実していたからと受けとめていた）今後の活動に今回の大会を活かしていきたいと思う。

なお、十一月七日の兵庫教区御同朋総結集大会に向かって頑張っていかなばと決意を新たにいたします。

阪神北組源照寺総代 谷野 武夫

念仏の声を伝えていく献花・献灯の子供たち



「念仏の声を世界に子や孫に」を実践していく姿にも思われた。

少年連盟の主催で開催されるサマースクールが今年淡路組萬行寺（山本宣昭住職）様のお世話になり七月三十日から八月一日の二泊三日の日程で開催された。

「星・海・山とにらめっこ」淡路で少年サマースクール



水泳の前に諸注意の藤川先生

「来年もぜひ参加したい」「楽しかった」という思いを残して有意義に閉会した。

参加者の中から三班五年岡本千絵子さんの作文。始めてのサマースクール心配や不安もあつたけど、楽しみもありました。「明石」。明石。「電車の中で、放送があつたときは、とても不安だったけど、お寺について、まあまあいいな、と思いました。友だちもできてよかったです。」

テーマの「星、海、山とにらめっこ」というのは、おはなししてもらって、よく分かりました。とくに星に興味があるというか、好きなので、もつと、星を調べて楽しみたいのです。

あみださまは、いつでもみんなや私たちのことを、みまもってくれて、うれしです。手をあわせるのはとてもよいことだとよくわかりました。

来年もいけるなら、いきたいです。いろいろな予定を、けががなく無事終わってよかったです。

家にかえってから、お寺のサマースクールでおぼえたことを、しっかりと守っていきたいです。

法

みのり

仏恩の深遠なるを信知して

報恩講におもう

おお たい ねん 唯念
おお たい 太田



きびしい残暑もすぎ、秋彼岸すぎから、報恩講法要が、真宗寺院や御門徒で厳修されます。又、お取り越しとも申されていますが、それは、京都ご本山での御正忌法要に参詣するのに邪魔にならない様にとのほからいから、東は越前西は播州まで、報恩講をくり上げたので、お取り越しとも云われていると聞いています。

我が真宗では、最も重要かつ、大切な法要であり、本願力廻向の信心を賜った人が、知恩報徳、仏恩報謝、喜びの中でお勤めさせていただく法要です。すこし前までは真宗のご門徒である限り、親の法事は忘れても、報恩講だけは動めない家はなかつたのですが。今は時代と共にすこし変わって来た様です。大切な報恩講法要が少なくなつた様に思いますが、誠に残念でなりません。色々な問題があるのでしよう。住職の兼務問題、時間に追われている、仕事の問題等々それ以上に恐いのは、恩がわからなくなつて来た様に思えてなりません。ご恩と云う事は考えた事もない。競争社会で、恩なん

て考えられるか、と、必ずハネ返してしまふ様です。上から下へ、の縦社会の行動ですので、横社会で何事も平等と思つている人は、必ず恩にさせるな、恩がせがましく物言うな、私は誰にも世話にならん、私は、一人、生きていますのだ、一人でも生きられるのだと云う様な、仏教の縁起さえも、否定し、完全に恩思想も消えている様です。

はたして私の存在は、一人の力であるのでしょうか、その様な事を、聞きつづけて行くことの大切さを忘れてはなりません。

報恩講法要と云う行事は、如来より信をめぐまれ、念仏申す人生を歩み本当の、おかげさまを、知らされない限り、心からのお勤めは、出来ないと思ひますが、いかがでしょうか。み教えを聞いて、如来のみ光に照らされ、私一人がと、うぬづかれていた、自己を知らされその私が、如来に救われて、現生で不退の位に、やがて浄土にて無上の仏と転じかえられるんだと云う喜びを教えて下さつた。祖師のご苦勞を偲ぶ時、他人に強制

されたからではなく、まさしく、知恩報徳の自然の行動が、報恩講の行事でありましよう。

『自然のことはりにあいかはばば 仏恩をもしり、また、師の恩をもしるべきなり』(數珠抄)であります。報恩講法要中に、聞法にいそしみ『本願の正意に帰入して、一念発起の眞実信心をもうくべきものなり云々』(四論)と蓮如上人も申されている通り、不信のもの、とくと聴聞させていただかなければなりません。

如来の号名法、撰取不捨の光明は、私をつつみこみ、私一人にかりはてて下され、いだからいふことを聞くのであります。しかし聞いたから救われるのではありません。救われることにまちがいが無い、本願念仏のお心が、如来のおてもとで成就してののだと聞いて疑いのはれた姿が聞こえた姿であります。又私が信じたから救われるのでもありません。信心を救いの条件にすることではありません。救われるに間違いない。如来の願力一つばたらきで、浄土往生に間違いないと信じ、往生成仏

に間違いないとの、如来の仰せに信順することです。

『如来の本誓、機に應ぜることを明す』(正信) 如来のご成就せしめる名号は、一人一人の意に相應する様に出来ていることを明らかにして下されたと申される、私がか心配する先から先から、私が考える先から先から、心配し考え思惟され、一切衆生が平等にして、無条件にて救われる、名号に成就されて。私の信心となり、念仏となつて、私が浄土に往生し仏になるまで、はなれんと喚びたもうのです。

報恩講とは、本当の親に巡り会うことであり、これまた、子であるとお覺をいただくことではないでしょうか。大悲の親をもちながらいかででしょうか。朝から晩まで、顔は、合せていますが、はたして心の触れ合いがありませんか。如来の前にぬかずきながら、あじわつていただきたいと思ひます。

念仏の声が少なくなつたと言われている今日、真剣に聴聞にいそしみ、お念仏の声高らかに、今年も報恩講法要に遇えた喜びをわかち合い、有縁の人々に、念仏を伝えて行く事が、祖師聖人の、ご恩を偲ぶ、一年に一度、報恩講法要に遇わしていただいた、よろこびであります。今年こそは、家内一同お詣りさせていただきたいものです。

(播磨中組・西念寺)

恩徳講のついでに
北中から
汗が流れて
くっかいた



今今今
たった今死んでも
生き甲斐あったか

お寺の法要には知らん顔？

私の地域(関西)では「月忌参り」が盛んで、故人の毎月の命日には各家庭にお参りします。しかし、こうした家の門徒さんが皆、お寺に親しみ、お寺の法要に積極的に参りされているかというと、必ずしもそうではなく、最近では、むしろ「家のお仏壇には参るが、お寺には参らない」人が多くなってきたようです。

中には、お寺で「報恩講」や「永代経」の法要が勤まる日にもかかわらず、「お寺の法要には我れ関せず」とばかりに「きょうは主人の命日ですので、家にお参り

して下さい」と、平気で電話してくる方までいます。命日には家のお仏壇に僧侶が参らなければならぬ、とでも思っているのでしょうか。また、「お寺の法要行事は、自分とは関わりがない」とでも思っているのでしょうか。

お寺で勤められる法要・行事は、住職や一部の門徒さんだけのものではありません。縁あるすべての門信徒さんがお参りし、聞法していただくために勤められるのです。他人事と思わず「私のために勤められる」と思ってください。

お寺で法要の勤まる日が、たまたま故人の命日に重なった方は、法要が勤まる時間には都合をつけてお寺へお参りし、家では改めて家族そろってお勤めすればよいでしょう。命日にお寺で法要が勤まるのを、むしろ慶びとしていただきたいものです。

さらに言えば、お寺はいうまでもなく、ご門徒が力を合わせて建立し、護持されてきた「聞法の道場」です。数多くの先輩たちが、ご本尊をご安置した本堂で仏法を聞き慶んできました。その慶びを家庭でも身近に

味わいたいということでも、お仏壇が安置されるようになったと言つてよいでしょう。お仏壇の構造は、本堂の「ミニチュア版」になっているのに注目して下さい。つまり、お寺の本堂が本来的にお念仏の道場であるわけですから、家のお仏壇だけで仏事をすますのでなく、進んでお寺にお参り下さい。門信徒であるあなたは、りっぱなお寺の一員なのです。

本願寺出版社発行の
末本弘然著
「仏事のイロハ」より

お仏壇・お仏具のお求めは、創業180余年の浜屋へ



大切にしたい日本の心
やすらぎのある生活
浜屋の願いです。



- 45 -2211代
- 61 -2211代
- 51 -2211代
- 54 -2211代
- 709 -2211代
- 783 -2211代
- 71 -2211代
- 29 -2211代
- 83 -2211代
- 22 -2211代
- 388 -2211代
- 53 -2211代
- 75 -2211代
- 413 -2211代
- 51 -2211代
- 371 -2211代
- 621 -2211代
- 927 -2211代
- 37 -2211代
- 43 -2211代
- 82 -2211代
- 22 -2211代
- 76 -1316代
- 62 -2235代
- 62 -5171代
- 5 -2011代
- 93 -2211代
- 900 -2211代
- 97 -2211代
- 22 -2211代
- 88 -2211代